

## F I J 月次活動レポート（2020年4月）

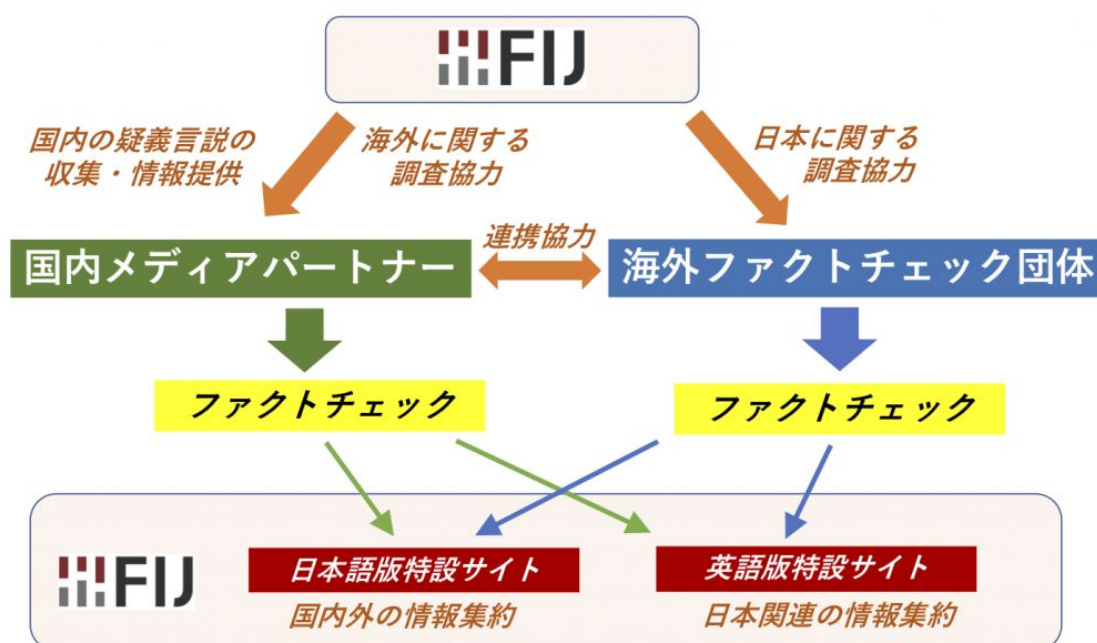
ファクトチェック・イニシアティブ（F I J）の活動にご注目・ご支援をいただき、誠にありがとうございます。4月の活動内容をご報告させていただきます。

新型コロナウイルス感染拡大を受け、F I Jは2月初旬に「[新型コロナウイルス特設サイト](#)」を開設し、国内外の団体が実施した新型コロナ関連情報のファクトチェック結果を集約しています。3月より国際協力プロジェクトも始動しました。

### （１）新型コロナウイルス特設サイトの配信

特設サイトは、国内外のメディア、団体が実施したファクトチェックの結果を紹介していますが、最新の更新情報を通知してほしいという要望に応えるため、更新ニュースのメール配信（1日1回）を会員、寄付者、メディアパートナー等のご希望者に向けてスタートしました。

4月25日には、F I Jの英語版サイトをリニューアルし、日本に関連する新型コロナのファクトチェック情報を海外に発信する特設サイトとしてオープンしました。



### （２）国際協力プロジェクトの成果

F I Jでは国内外の団体・メディアのファクトチェック調査に協力するため、英語リサーチャーなど25名以上から成るプロジェクトチームを編成しました。

4月は、モニタリングにより287件の疑義言説に関する情報を国内メディアパートナーに提供。①日本の専門家が「若い人も死亡しやすい」と警鐘したと

の香港メディアの報道、②「緊急事態宣言で知事にロックダウンの権限が付与された」との米国メディアの報道、③「ノーベル賞受賞者の本庶教授がウイルス人造説に言及した」とするインドのネット情報など、数多くの案件を調査しました。③はF I Jの調査協力によりインドの団体がファクトチェック記事を発表し、日本の主要メディアも相次いで報じるなど大きな反響が出ました。



こうした活動が皆様のご支援により実現しております。  
あらためまして厚く御礼申し上げます。

今後ともご注目・ご支援のほど、何卒お願い申し上げます。



## F I J 月次活動レポート（2020年5月）

ファクトチェック・イニシアティブ（F I J）の活動にご注目・ご支援をいただき、誠にありがとうございます。5月の活動についてご報告させていただきます。

### （１）新型コロナウイルスの誤情報への取り組み

画像１枚目は、新型コロナウイルス特設サイト「全ての検証対象情報」ページ <https://fij.info/coronavirus-feature/database> のスクリーンショットです。5月は様々な数字についての誤情報の広がりが確認されました。２枚目の「東京都の病床数使用率は91%」など、当局の混乱ぶりとメディアの取材不足が伺われる事案も明らかになり、不正確な情報が政策や世論に影響を及ぼしているものと懸念されます。

特設サイトでは他にも、PCR検査数と死亡者数・死亡率との関係に言及した発信についての複数のファクトチェックをご紹介します。これらはF I J プロジェクトチームの調査情報を起点として記事化が実現した事例となります。

### 感染者の状況

（日付は検証記事が掲載された日です）

#### 【国内で拡散した情報】

- ✓ 6月2日の東京の新規感染の確認数は、49人 ☞ (6/3)
- ✓ 東京のPCR検査数「5月19日はたった48人」 ☞ (5/31)
- ✓ (5月11日時点で) 東京都の病床数使用率は91%、ひっ迫した状態が続いている ☞ (5/22)
- ✓ (4月18日現在) 1万人近くの感染者のうち日本人は半分もいない ☞ (5/12)

“

（5月11日時点で）東京都の病床数使用率は91%、ひっ迫した状態が続いている  
—5月11日NHKニュース、特設サイトなど。中国語圏でも多数報道

”

### インファクトによる検証結果 誤り

東京都が修正発表した情報に基づき算定すると、5月7日時点での病床使用率は約50%、12日時点で約43%となり、NHKが報道した時点で「5割未満」であった。厚労省も、東京都の発表が不正確であったと認めている。

## （２）海外向け発信の強化

5月8日に英語で発信するtwitterアカウントを開設、5月22日にファクトチェックレポート「Japan Fact-checks」

<https://en.fij.info/archives/weekly-052220/> の発行を開始しました。これらは、日本に関する誤情報の海外での拡散防止や、海外ファクトチェック団体との協力関係の強化などに取り組む「国際プロジェクト」の一環です。レポートは、日本における誤情報等のトレンド分析、注目事例などいくつかのコーナーで構成され、発行は概ね週1回、F I J 英語版サイトに掲載し、twitterやFacebookでも発信します。twitterでは海外団体との接触を積極的に行い、多くの反応をいただけるよう取り組んでまいります。



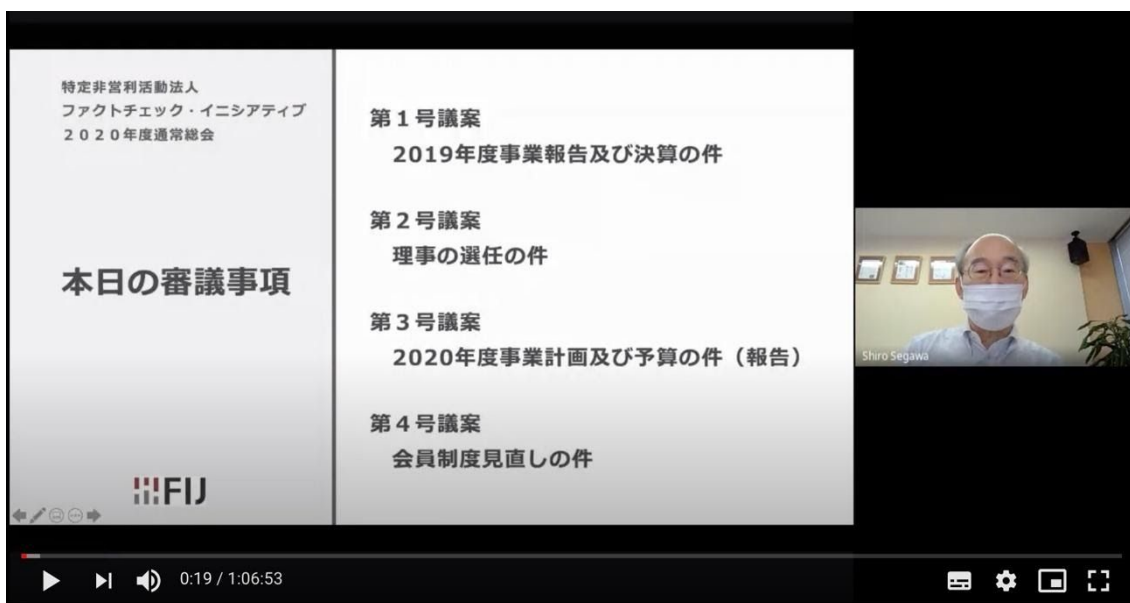
## F I J 月次活動レポート（2020年6月）

ファクトチェック・イニシアティブ（F I J）の活動にご注目・ご支援をいただき、誠にありがとうございます。引き続きほぼ全面テレワークとなりました6月の活動のトピックをご報告させていただきます。

### （１）通常総会を開催（6月27日）

NPO法人として年に一度の通常総会は、議決権を有する社員（正会員）がリモート参加となり、採決方法などに工夫を凝らしての進行となりました。活動報告など全ての議案が可決・承認され、新たに理事として古田大輔氏（メディアコラボ代表、元BuzzFeed創刊編集長、元朝日新聞記者）が就任しました。

旧年度中、また4月からの新年度も、おかげさまで数々のご支援を賜り、法人設立から3年目にしてこれまでになく大きな規模の事業に取り組むことができます。ファクトチェックの「担い手」を増やす新たな試みや、活動状況や成果についての発信も充実させてまいります。



### （２）スマートニュース米国版への記事配信を開始

6月より、モバイルアプリ「スマートニュース」米国版に、記事の配信を開始しました。F I J 英語サイトの新着記事と、毎週発行のレポートJapan Fact-checksが、ファクトチェック記事を集めた「Truth Watch」チャンネルに掲載されています。

スマートニュース米国版独自の「Truth Watch」はTOPチャンネルの隣に配置されて注目度が高く、記事の配信はF I J「国際プロジェクト」の成果への大きな寄与が期待されます。日本版と同じアプリで米国版もご覧いただけますので、F I J ウェブサイトにてご案内しております表示切り替え方法（下記URLの記事）をご参照のうえ、お試しください。ありがとうございました。

スマートニュースの切り替え方法 <https://fij.info/archives/7083>

Japan Fact-checks <https://en.fij.info/archives/category/fact-checks/weekly/>

Top

Truth Watch

Coronavirus

> Local

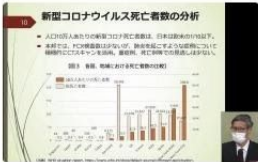
  
×  
 SmartNews

**FIJ debuts on SmartNews' U.S. edition**  
FACTCHECK INITIATIV...

  
**Japan Fact-checks:**  
You can never be too prepared? The nature of recent...

FACTCHECK INITIATIV...

**Inaccurate: Countries with more PCR tests have more deaths**  
FACTCHECK INITIATIVE JAPAN



## F I J 月次活動レポート（2020年7月）

ファクトチェック・イニシアティブ（F I J）の活動にご注目・ご支援をいただき、誠にありがとうございます。7月のご報告をさせていただきます。

### （１）F I Jは「認定NPO法人」になりました

NPO法人ファクトチェック・イニシアティブは、7月13日、東京都より認定を受け「認定NPO法人」になりました。多くの方々に支えられた、公益性を有する団体として、今後さらなる活動の充実を図り、ご期待・ご支援にお応えして参る所存です。

[法人・団体情報詳細（東京都生活文化局）](#)

### （２）世界ファクトチェック会議のご報告

ファクトチェックに携わるジャーナリストらが集まる世界ファクトチェック会議（Global Fact 7）が6月22日から30日までオンラインで開かれ、これに参加したF I Jの奥村信幸理事（武蔵大学教授）による3本のレポートをウェブサイトに掲載しました。ファクトチェックの現在を把握いただける内容となっております。ご一読いただけましたら幸いと存じます。

[\(上\) ファクトチェックデータを深いレベルで共有する](#)

[\(中\) 「公共財」としてのファクトチェック](#)

[\(下\) 新しい「ファクトチェックの信頼を守る基準」を解説する](#)



2020.07.17 レポート

#### Global Fact 7 速報レポート(下) 新しい「ファクトチェックの信頼を守る基準」を解説する【奥村信幸】

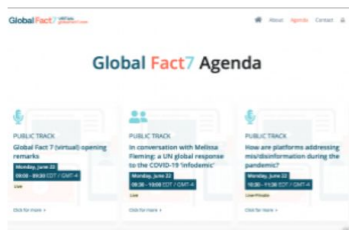
主な項目：「ファクトチェック網領」の生まれ／「しなければならない」「してはいけない」／「シグナトリー」とは／資金源・内容などのチェック／審査人の重要性／日本のメディアもファクトチェッカーを



2020.07.11 レポート

#### Global Fact 7 速報レポート(中) 「公共財」としてのファクトチェック【奥村信幸】

主な項目：国連も積極的に関与／ネットのアクセスも「資産」という考え／国境を越えてファクトチェックを届ける／費用負担が課題に



2020.07.10 レポート

#### Global Fact 7 速報レポート(上) ファクトチェックデータを深いレベルで共有する【奥村信幸】

主な項目：新型コロナウイルスに正面から取り組む／国際的なコラボレーションが強化／消されても根強く拡散した動画をめぐって／正確な情報を目立たせる「仕組み」を目指して

### （３）新型コロナウイルス関連の活動

7月も引き続き新型コロナウイルス関連の誤情報を集約・調査する活動に注力いたしました（<https://fij.info/coronavirus-feature>）。海外団体との協力も行なっておりますが、今春よりF I Jが調査に協力した台湾ファクトチェックセンター（TFC）の記事の翻訳版をこのたび掲載しました。（元の記事は数ヶ月前のものです。）

- ・ [《誤り》ネット情報「チャーター機で武漢から帰国した日本人が1人1台の救急車に乗車」は事実？](#)
- ・ [《誤り》河野防衛相「台湾から50万のマスクが安着しまして…」とツイート？](#)
- ・ [《事実の明確化》ネット動画「新型コロナウイルスは空気感染すると証明」は事実か？](#)

## F I J 月次活動レポート（2020年8月）

ファクトチェック・イニシアティブ（F I J）の活動にご注目・ご支援をいただき、誠にありがとうございます。8月のご報告をさせていただきます。

### （１）新しいウェブアプリを公開

8月31日に、ファクトチェックの認知拡大を目的とした「FactCheck Navi」(<https://navi.fij.info/>)を公開しました。詳しくは次月にご報告させていただきます。

### （２）学生スタッフがリーフレットを制作

ファクトチェック国際協力プロジェクトに参加する学生スタッフ有志がファクトチェックを身近に感じてもらうためのリーフレットを制作しました。  
(<https://fij.info/introduction/leaflet>) 横浜の日本新聞博物館でも配布されました。



The graphic is a multi-panel leaflet for FactCheck Navi. It features a light blue background with illustrations of people and speech bubbles. The text is in Japanese and explains the purpose of fact-checking, the activities of FIJ, and how to get involved. It includes a flowchart of the fact-checking process and a red hand icon with the text 'ちょっと待って!' (Wait a moment!).

多くの人が持っている情報は、疑って  
みる必要があるよね。表現に惑わされ  
ず、誤りを誤りと見抜ける人が  
増えてほしいな。

意見は意見。  
正しいかどうか  
調べられるのは、  
事実だけ。

ファクトチェックで、  
信頼できる情報を  
さがしました。

**#ファクトチェック**

始めて変わったこと・気付いたことは？  
～FIJでファクトチェックに取り組む学生の声～

ファクトチェックとは、社会に広がる情報・ニュースが  
事実(Fact)に基づいているかどうかを調べて(Check)、  
正確な情報をみんなで共有しようとすること。  
誤った情報から身を守るために「誰にでもできること」です。

自分自身が怪し  
い情報に敏感で  
いるために

色々な言語で情報に触れないと、  
たとえば英語メディアの報道を「世界の声」  
と受け取るのは、英語圏以外の国を排除する  
ことにつながるな...

ファクトチェックの  
重要性は今後増えて  
いくと思います！

誤情報に惑わされない社会へ  
みんなのファクトチェック

FIJにおけるファクトチェックの活動

怪しい情報の検知・収集

怪しい情報の真偽を調査

メディアに情報提供して  
ファクトチェック記事が発行される

これらプロセスに  
学生も参加しています

誤情報に惑わされない社会へ

国際プロジェクトで連携強化中

誤情報は言語、国境を超えて拡散しています。  
海外のファクトチェッカーとの連携・調査協力も  
行っています。

認定NPO法人  
ファクトチェック・イニシアティブ  
(FIJ) は日本でファクトチェック  
の普及活動を行っています。

詳しい活動内容、ご支援は [FIJ](#)

ちょっと待って!

ほんとうに、正しい情報？  
ファクトチェックで見きわめよう

**FIJ**

### （３）「マンスリーサポーター募集キャンペーン」を開始

7月の認定NPO法人化を機に、末長いご支援をお願いする「マンスリーサポーター募集キャンペーン」を9月下旬まで展開中です。寄付サイトのキャンペーンページ(<https://syncable.biz/campaign/1197/#>)ではファクトチェックとF I Jに関わる情報発信を続けてまいります。

#### (4) 国連のキャンペーンに協力

誤情報が拡散しやすいソーシャルメディア上で「#シェアする前に考えよう」と訴える国連の”Pause”キャンペーンに協力しています。

Twitter（動画付き）：

[https://twitter.com/FIJ\\_factcheck/status/1291976977696485377](https://twitter.com/FIJ_factcheck/status/1291976977696485377)



#### (5) 日本経済新聞に記事掲載

F I Jでファクトチェック作業を体験取材した記者のリポートが、8月5日付電子版と6日付朝刊（社会面）に掲載されました。

(<https://fij.info/archives/7672>)

## F I J 月次活動レポート（2020年9月）

いつもご支援を賜り、誠にありがとうございます。おかげさまで9月も様々な活動に取り組むことができました。

### （１）FactCheck Navi

8月31日に一般公開の新しいウェブサイト／アプリ「FactCheck Navi」(<https://navi.fij.info/>)は、多くの人に、ファクトチェックを日常のものとしていただき、目にした疑わしい情報のご提供にもご協力いただきたく、リリースしました。

9月中にはファクトチェック記事19件、誤情報関連ニュース51件を登録しました。主にスマートフォンの画面に登録いただきアプリとしてのご利用を想定しており、新着記事通知機能もございます。ぜひアクセスをお願い申し上げます。

（ご案内記事 <https://fij.info/archives/7841>）



### （２）オンラインセミナー

12日に「コロナ禍のインフォデミックに立ち向かう」を開催しました（<https://fij.info/archives/7832>）。6月にオンライン開催された国際ファクトチェック会議”Global Fact 7”に参加した理事による報告、F I Jの国際協力プロジェクトにおける海外ファクトチェック団体との協力事例、メディアパートナーとの取り組みの成果と課題など、新型コロナに関わる様々な取り組みをご報告しました。

### （３）毎日新聞の新たな取り組み

F I Jメディアパートナーの毎日新聞は23日、ファクトチェックの本格導入を社告の中で表明しました。

ファクトチェックページにはF I Jのレーティング（判定基準）を採用したことが示されています。（<https://bit.ly/33DLqpS>）

記事の一部にF I Jは情報提供等で協力しています。

### （４）日テレNEWS24に出演

29日に楊井事務局長が日テレNEWS24の番組「the SOCIAL」に出演、F I Jが構築しているファクトチェック・システム、目指すべき社会像などについて語りました。映像を下記よりご覧いただけます。

前半：「誤った情報」惑わされないためには？ <https://bit.ly/2I9DJ2A>

後半：”感情を揺さぶるような情報”こそ疑え！ <https://bit.ly/3lprTj3>

ダイジェスト：<https://bit.ly/36Hy0Lt>

## F I J 月次活動レポート（2020年10月）

いつもご支援を賜り、誠にありがとうございます。  
10月の活動につきましてご報告させていただきます。

### （１）ファクトチェック記事への反響

日本学術会議に関わる誤った言説が政治家などからも発せられたことが大きなニュースとなりました。F I Jのメディアパートナーも合計13本の記事を発表、これらをF I Jのウェブサイト／アプリ「FactCheck Navi」の記事一覧ページ（[https://navi.fij.info/factcheck\\_navi\\_tag/scj/](https://navi.fij.info/factcheck_navi_tag/scj/)）でご紹介しています。

### （２）大手メディアもファクトチェックを本格的に実施

11月1日に住民投票が行われた「大阪都構想」に関して、さまざまな疑わしい言説が流れることが事前に想定されました。実際に投票日まで10件以上のファクトチェック記事が発表され、産経新聞と読売新聞が新たに「ファクトチェック」を掲げて記事を公表したことが注目されます。特に産経新聞（大阪社会部）は私たちF I Jのメディアパートナーに加盟したうえでの取り組みです。メディアパートナーは内外20団体となり、ファクトチェックの広がりに確かな手応えを得られた10月となりました。



「都構想」ファクトチェックのまとめを、メディアパートナー2団体が発表しております。ここに紹介された記事の一部には、F I Jが運用する疑義言説捕捉システムも寄与しております。ご覧いただけましたら幸いです。

大阪都構想 不確実情報に各紙のファクトチェックは（産経新聞2020.11.6）

<https://www.sankei.com/west/news/201106/wst2011060024-n1.html>

【大阪都構想住民投票】メディア各社のファクトチェックまとめ 賛否両論それぞれの検証結果は（インファクト2020.10.30）

<https://infact.press/2020/10/post-9438/>

なお、11月1日付で事務所を移転致しました。移転先は下記となります。

〒160-0022 東京都新宿区新宿 5-15-14 INBOUND LEAGUE 330号

引き続きご注目・ご支援のほど、なにとぞ宜しくお願いいたします。



## F I J 月次活動レポート（2020年11月）

いつもご支援を賜り、誠にありがとうございます。  
11月の活動をご報告させていただきます。

### （１）ファクトチェックの担い手を増やす取り組みを発表

誤情報・偽情報の蔓延を防ぎ、様々な課題に事実に基づいて対処する社会を築くためのファクトチェック活動を、多様な主体が担うことが必要である、と私たちFIJは考えています。そして日本においてはその担い手不足が大きな課題となっています。

そこでこの度、FIJの会員制度を改革し、担い手を増やす新たな取り組みを始めることといたし、11月28日にウェブサイトで発表いたしました。

「会員制度を変更し、ファクトチェックの担い手を増やす活動を強化します」  
<https://fij.info/archives/8318>

個人の賛助会員制度（一般会員／特別会員／学生会員）に代わり、担い手となる「アソシエイト」の募集と養成プログラムを、2021年より開始いたします。開始時期など詳細につきましては、後日あらためましてウェブサイト等で公開いたします。ぜひご注目のほどお願いいたします。

### （２）理事のメディア出演など

11月21日に開催されたオンラインイベント「朝日新聞 記者サロン・臨時国会をファクトチェック」にFIJ立岩陽一郎理事が出演、その映像が朝日新聞デジタルで公開されました。FIJのレーティング（ファクトチェックの判定基準）も紹介されています。

<https://digital.asahi.com/articles/ASND156G0NCVUTFK02C.html>

11月30日、公益社団法人日本アドバタイザーズ協会Web広告研究会が主催する「第8回Webグランプリ」が発表され、「Web人賞」にFIJ楊井事務局長が選ばれました。同賞は、デジタルを活用したマーケティング、コミュニケーション等の原動力となった人物の功績を表彰するものです。

[https://www.wab.ne.jp/wab\\_sites/general-browse/view/3242/2](https://www.wab.ne.jp/wab_sites/general-browse/view/3242/2)

発売は12月1日となりましたが、雑誌「ビッグイシュー」396号に楊井事務局長へのインタビュー「“言ったもの勝ち”に歯止めをかけるファクトチェック」が掲載されました。同誌は月2回刊、「ホームレスの人の仕事を作り自立を応援する」メディアとして、主に全国主要駅付近の街頭で販売されています。

第396号内容紹介 <https://www.bigissue.jp/backnumber/396/>

ビッグイシューの販売場所 <https://www.bigissue.jp/buy/>



## F I J 月次活動レポート（2020年12月）

旧年中にいただきましたご支援に、あらためまして厚く御礼申し上げます。

2020年は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴うインフォデミック（真偽不明情報の爆発的拡散）が問題となる中、ファクトチェックに対する人々の関心と期待の一層の高まりを感じた一年でした。

2021年は新たにファクトチェックの「担い手」育成に注力しつつ、引き続き、誤情報に惑わされにくい社会の実現に向けて活動を進めてまいります。今後ともご注目・ご支援のほど何卒お願い申し上げます。

2020年12月の活動をご報告させていただきます。

### （１）2020年の活動の成果

F I J やメディアパートナーの2020年の活動の成果を文書にまとめ、公開しました。ファクトチェック記事の本数や疑義言説データベース（ClaimMonitor）の運用実績などをご案内しています。お目通しいただきましたら幸いです。

2020年の活動成果と今後の取り組み（PDF） <http://bit.ly/2L9TWqc>

F I J の取り組み（ウェブサイト） <https://fij.info/activity>

#### 2020年の主な活動成果

- 新型コロナ特設サイト→ファクトチェック情報の認知拡大
- メディアパートナーの増加→ファクトチェック記事の増大  
（毎日新聞、産経新聞大阪社会部などの加盟）
- 国際協力プロジェクト→海外団体との調査連携強化
- ファクトチェック支援システムの本格稼働
- ファクトチェック情報を一元的に配信するFactCheck Naviのローンチ

## （２）理事の新著、メディア出演など

F I Jの立岩陽一郎理事の新著「コロナの時代を生きるためのファクトチェック」が12月10日に発売されました。様々な困難に直面するであろうこれからの社会を生きる若者に向けてサバイバル術としての「ファクトチェック」のテクニックを伝える本書では、F I Jの活動にも触れています。内容の一部が講談社の情報サイト「ミモレ」で公開されましたので、ぜひご一読ください。

F I J公式サイト <https://fij.info/archives/8440>

講談社mi-mollet <http://bit.ly/2Mz243U>

F I Jの古田大輔理事が、12月18日放送のNHK総合テレビ「フェイク・バスターズ “選挙とフェイク”」に出演しました。2019年にF I Jセミナーにご登壇いただいた平和博さん（桜美林大学教授）もご出演されています。番組ではファクトチェックの重要性について言及がありました。NHKのサイトで内容が詳しく紹介されています。

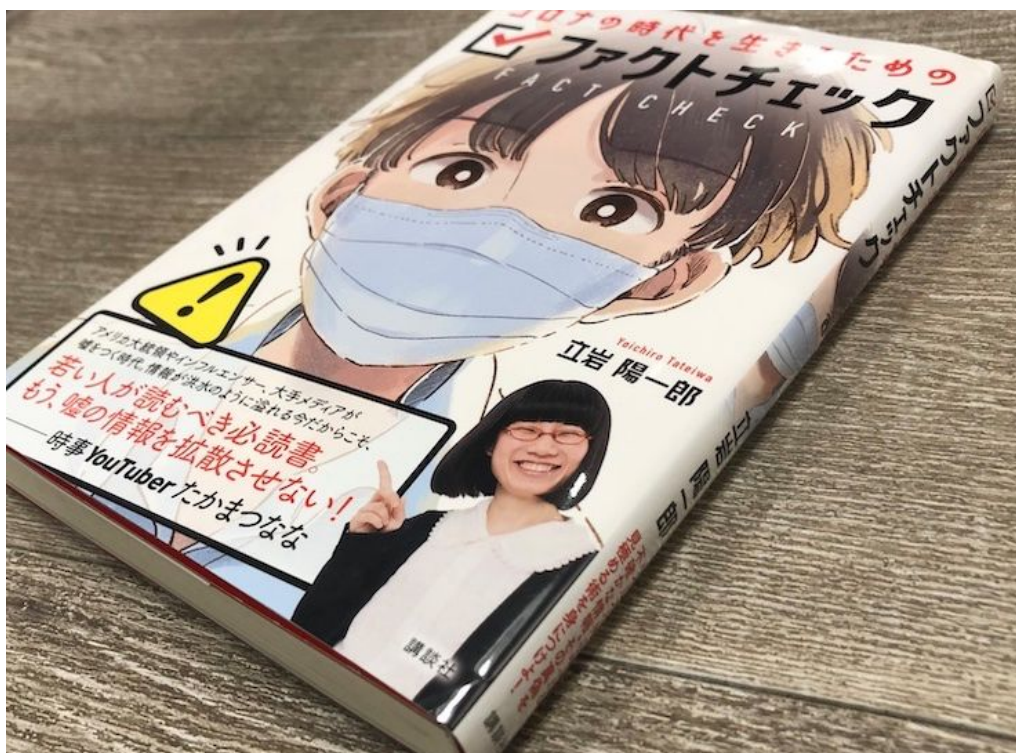
番組ダイジェストPART1 <https://www.nhk.or.jp/gendai/comment/0016/topic014.html>

PART2 <https://www.nhk.or.jp/gendai/comment/0016/topic015.html>

PART3 <https://www.nhk.or.jp/gendai/comment/0016/topic016.html>

東京法令出版から発行される中学校公民科の副読本（資料集）の2021年版で、ファクトチェックに関する説明やF I Jの取り組みが掲載されることになりました。情報の真偽を見極めることの重要性を学ぶ一助となることを期待しております。

F I J公式サイト <https://fij.info/archives/8414>



## F I J 月次活動レポート（2021年1月）

いつもご支援を賜り、誠にありがとうございます。  
1月の活動をご報告させていただきます。

▶FIJは昨年11月に「教育プロジェクト」を立ち上げました。12月から1月にかけて、ファクトチェックとは何か、チェック対象は何かといった基礎的な内容をわかりやすく伝える動画の制作に取り組みました。今後さらに、取材のルール・記事の作り方といったより専門的な内容のものなど複数の動画を制作し、広くご覧いただけますようYouTube等で順次公開の予定です。

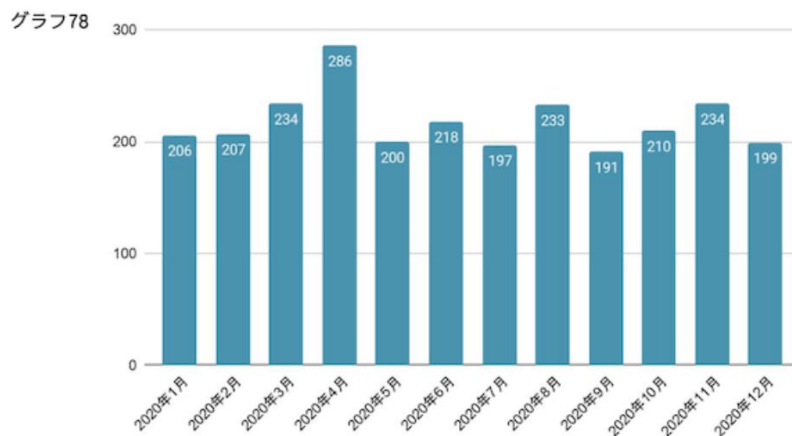
▶シエンプレ デジタル・クライシス総合研究所が、2020年のデジタル・クライシス（ソーシャルメディアを中心としたネット上で発生した危機や重大なトラブル）を調査・分析した「デジタル・クライシス白書2021」を1月20日に発表、FIJはこれに疑義言説件数データの提供などの面で協力しました。

同研究所はFIJのメディアパートナーであるシエンプレ株式会社が設置した研究機関です。

FIJ公式サイトでご案内しました。 <https://fij.info/archives/8671>

### 1. 疑義言説の件数

2020年に発生した疑義言説は合計で2,615件であり、1日平均7.2件発生していることが分かった。最も件数が多いのは4月で286件、2番目が3月234件と11月234件という結果であった。（「ClaimMonitor2」内に存在する件数をカウントしているものであり、すべての疑義言説を網羅しているわけではない）



デジタル・クライシス白書2021より

▶KDDI株式会社が運営する情報サイト「TIME&SPACE」で、FIJの取り組みと、楊井人文事務局長のコメントが掲載されました。

「フェイクニュースにだまされるな！『ファクトチェック』で安心・安全なデジタル社会へ」と題したこの記事では、市民とファクトチェッカーをつなぐ支援活動や、公益財団法人KDDI財団の助成を受けて開発したウェブアプリ「ファクトチェック・ナビ」などを通じてファクトチェックの担い手を広げる取り組みが紹介されています。

FIJ公式サイトでご案内しました。 <https://fij.info/archives/8668>



引き続きご注目・ご支援のほどなにとぞ宜しくお願い申し上げます。





# 活動レポート

2021 年  
2 月

いつもご支援を賜り、誠にありがとうございます。  
2月の活動をご報告させていただきます。

▶ファクトチェックについて多くの方に知っていただくために、入門動画「ファクトチェック知りたいシリーズ」を制作しています。その第1弾を2月16日にYouTubeで公開しました。

シリーズ①ファクトチェックが必要なのはなぜ？

<https://www.youtube.com/watch?v=pxy0xoEDqEw&feature=youtu.be>

3月以降に順次、「ファクトチェックとはなにか？」「ファクトチェックのやり方とは？」といったタイトルで、5分～10分ほどの動画をFIJのYoutubeチャンネルにて公開してまいります。

この動画シリーズは、日本財団の助成金を受けて、新型コロナウイルスの誤情報に取り組んだ国際協力プロジェクトに参加した学生メンバーとともに制作しました。

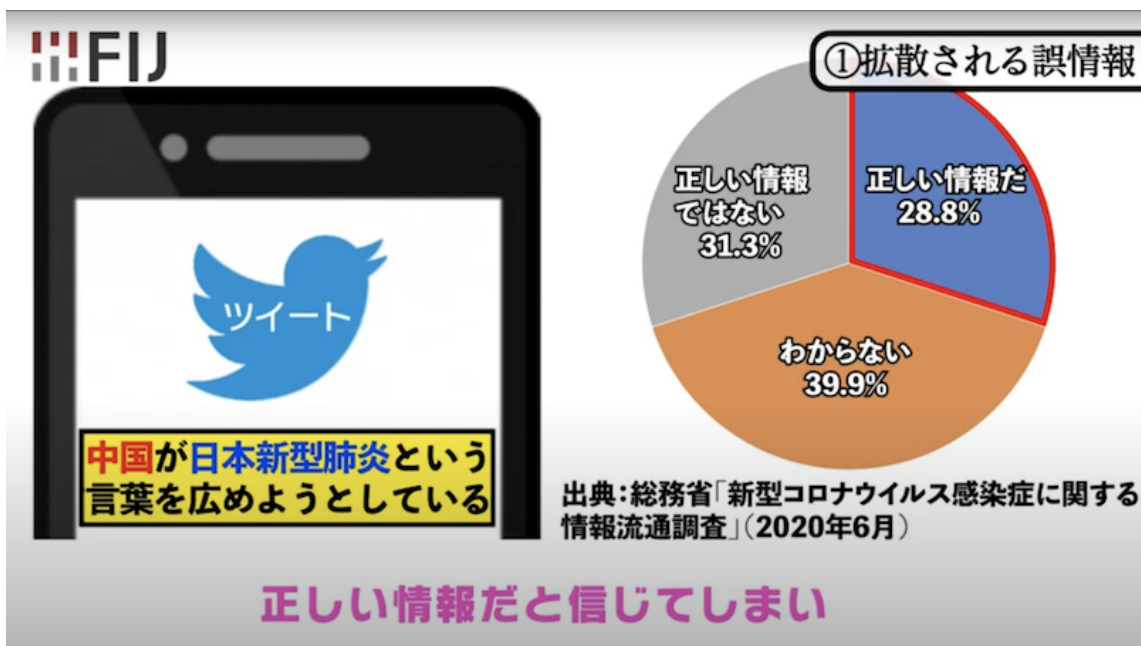
ぜひご覧いただき、ご関心のありそうな方にシェアしていただければ幸いです。

これらの動画の活用やオンライン講義等による教育事業につきましても、今春より開始いたします。

YouTubeチャンネル

[https://www.youtube.com/channel/UC\\_Dh44302JY4xWCOB4rs7lQ](https://www.youtube.com/channel/UC_Dh44302JY4xWCOB4rs7lQ)





▶月刊誌「正論」3月号(2月1日発売)に、ファクトチェックのあり方をテーマにした鼎談が掲載され、FIJ楊井人文事務局長が参加しました。

同誌2020年12月号、2021年1月号にFIJのメディアパートナーが取り組むファクトチェックを批判する記事が複数掲載されました。今回の鼎談は、これに関連して同誌編集部が企画したもので、ファクトチェックの目的・役割にまつわる疑問や誤解をときほぐすとともに、ファクトチェックの課題についても議論する内容となっています。ご関心のある方はご一読いただければ幸いです。

(FIJ公式サイト <https://fij.info/archives/8728>)

▶月刊誌「Voice」3月号(2月10日発売)の特別企画「『緊急事態』とメディア」に、FIJ瀬川至朗理事長(早稲田大学政治経済学術院教授)が論考「人類は『フェイクニュース』に負けるのか」を寄稿しました。

2020年のアメリカ大統領選挙で広がった誤情報・偽情報について分析しています。ぜひご一読ください。

(FIJ公式サイト <https://fij.info/archives/8771>)

引き続きご注目・ご支援のほどなにとぞ宜しくお願い申し上げます。

# FIJ 活動レポート

2021 年  
3 月

いつもご支援を賜り、誠にありがとうございます。  
2020年度の締めとなります3月の活動をご報告させていただきます。

▶3月19日、早稲田大学次世代ジャーナリズム・メディア研究所(所長:瀬川至朗FIJ理事長)が主催するファクトチェック研究会「AIで強化されるファクトチェックでCOVID-19に立ち向かう」を共催しました。ジャーナリストが利用できるさまざまな先進的なツールの中からファクトチェックに役立つものを実例を交えてご紹介しました。オンラインで開催され、その映像は後日一般公開予定です。  
(FIJ公式サイト <https://fij.info/archives/8758>)

MEEDAN  
OXFORD INTERNET INSTITUTE  
UNIVERSITY OF OXFORD  
Dr Scott A. Hale  
@computermaggyve  
Institute for the Next Generation of Journalism and Media  
Waseda University  
FactCheck Initiative Japan  
March 2021

## Combating COVID-19 and Empowering Fact-checkers with AI

### AIで強化されるファクトチェックで COVID-19に立ち向かう

VolkswagenStiftung  
ON  
OMIDYAR NETWORK™

## LINE initiatives in Taiwan and Japan

LINE 訊息管理  
加入官方帳號  
@LINE Fact Checker  
一起協助查證! 讓真相留下!

LINE NEWS, ファクトチェック・イニシアティブ (FIJ) へ新規参画 “誤情報に惑わされない社会”の実現を目指す

LINE NEWS × FIJ  
ファクトチェック・イニシアティブ

▶3月28日、朝日新聞朝刊(東京本社版・名古屋本社版)に、FIJのFIJ楊井理事のコメントと、FIJのウェブサイトでご紹介しているファクトチェックの国際的な五つの原則に言及した記事「政党がファクトチェック？ 大阪維新、府・市政批判の投稿に」が掲載されました。朝日新聞デジタルで公開済みの2つの記事の再構成となります。

「維新が『ファクトチェック』開始 推進する法人は問題視」(2月27日)

[https://digital.asahi.com/articles/ASP2W61BFP2WPTIL006.html?iref=pc\\_ss\\_date\\_article](https://digital.asahi.com/articles/ASP2W61BFP2WPTIL006.html?iref=pc_ss_date_article)

「政党がファクトチェック、成立する？ 匿名投稿に反論も」(3月19日)

[https://digital.asahi.com/articles/ASP3M61MJP3JUTIL00P.html?iref=pc\\_ss\\_date\\_article](https://digital.asahi.com/articles/ASP3M61MJP3JUTIL00P.html?iref=pc_ss_date_article)

引き続きご注目・ご支援のほどなにとぞ宜しくお願い申し上げます。

